

平成 29 年度事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

I 概況

米国トランプ大統領の一挙手一投足が世界の政治経済に大きな影響を与えており、好悪相まって不透明感が増していますが、政府の経済見通しによれば、今年度も引き続き緩やかな景気回復が見込まれています。

(一財)建設経済研究所の建設投資の見通しによれば 2017 年度建築投資は、前年度対比 $\Delta 1.4\%$ (政府： $\Delta 3.3\%$ 、民間： $\Delta 0.9\%$) と漸減見通しとなっています。首都圏は再開発の増加に加え、2020 年東京オリンピック・パラリンピックを控えた関連施設の本格化により電気設備の需要増大が見込まれておりますが、建設現場での人手不足やベテラン社員の退職などで今まで以上の仕様変更や納期遅れが予想され、業界全体での対応が求められています。

その反面、地方は太陽光発電設備の縮小、公共投資の減少などから受注競争が激しくなっており、地域間格差の一層の拡大が予想されます。地域的に偏った需要に対応するには首都圏と地方の会員との連携強化が必要と思われるため、様々な機会を通じて情報交換の場を提供していく予定です。

今年度は、規格や技術資料の改定に計画的に取り組むことはもとより、昨年トライアルとして出展した JECA FAIR に、内容をより充実しての出展、本会ウェブページの全面的見直しなどにより、知名度の向上に努めるほか、産業用ソーラメンテナンスの講習会や ISO9001 2015 年度版の研修を必要に応じて実施するなど会員サービスの向上に努めるとともに、現在各地で活動している青年部の組織化を支援します。

II 主要実施予定事業

1. 調査研究・標準化事業

1.1 調査研究事業

(1) 制御盤製作の省コスト化に関する調査研究 (パート 2)

制御盤の使用形態 (機械内蔵の制御盤、加工組立ラインの制御盤、大型工場設備の制御盤、建築・公共設備の制御盤等) に応じた省力化アイテムの提言を昨年技術セミナーで行いましたが、さらに、制御盤メーカーから意見を聴取したうえで内容を充実させ、「調査報告書 (電子版)」として発行します。

(2) 「作業効率の向上化：設計作業の課題と対策」の調査

盤製造の要である設計を中心に、作業の効率化への課題と改善策について報告書として取りまとめます。

(3) 組織の見直し

「組織研究会」で本会組織の現状を分析し、あるべき方向について支部長会や理事会に提言していきます。

1.2 規格、技術資料の改定・標準化事業

電気エネルギーを安全に使用するため、配電制御システムに関する規格や基準の制定・改定を計画的に行い、公開します。

(1) JSIA 300「分電盤通則」の改正

JIS C 8480「キャビネット形分電盤」の改正に合わせ、分電盤の一般的通則として内容の再編及び見直しを行います。(継続事業)

(2) JSIA-T1182「配電盤類の電気用図記号を用いた回路図」の改定

JSIA 118「配電盤類の電気用図記号と文字記号」の改正に合わせ、回路図例を見直します。(継続事業)

(3) JSIA-T1006「配電盤類に使用する銅ブスバーの許容電流計算」の確認

配電盤類の銅ブスバー選定の手順及び計算について、内容及び簡易計算書の確認をします。

(4) JSIA-T1003「配電盤に使用する絶縁電線」の改正

配電盤類に使用される電線の最新情報を取り入れ、許容電流を見直し、再編します。

(5) JSIA 116「配電盤類に使用する絶縁キャップ」の改正

規格制定後かなり経過していることから、内容を見直します。

(6) JSIA-T1013「インバータとその制御」の改正

最新情報、各種最新機材を念頭に見直し、改定します。(継続事業)

2. システム検査、技能検定事業

(1) 配電制御システム検査技能審査試験の実施

配電制御システムの検査業務に従事する技術者の知識及び技能の向上を目的として平成7年より「配電制御システム検査技能審査試験」を実施しており、今年度も10月第3土曜日に全国8会場で実施を予定しています。

また、実技試験の見直し等により本会が技能検定の試験指定機関になることが可能かどうか引き続き検討します。

(2) 技能検定試験の実施

中央職業能力開発協会からの依頼により、「電気製図」及び「電気機器組立」の2職種について中央技能検定委員を派遣するとともに、各都道府県職業能力開発協会から委託を受けた支部は、委員の派遣や技能検定試験を実施します。

3. 講習会、セミナーなど

(1) 技術セミナーなど

制御情報・新エネルギー等に関連する最新の技術的動向や委員会活動の成果報告等のセミナーを開催します。

(2) 産業用ソーラのメンテナンスに関する支援事業

会員企業が産業用ソーラメンテナンス事業に取り組むために必要な研修の実施や情報

の共有化に取り組みます。メンテナンス研修についてはすでに 4 回実施していますが、今年度も会員企業の要望に応じて年間 3~4 回を計画します。

(3) JSIA 優良工場指定講習会

技術者・技能者の育成、標準化活動、適合性活動について、課題の整理・選別を行い、他団体・企業と協力し、技術力の強化に向けた活動を推進します。

今年度は、品質マネジメント規格の改正、優良工場審査方法の変更に合わせた説明会を開催します。

4. 認定事業

(1) 耐熱形配電盤等認定事業

製品品質の維持・向上を図るため、品質管理のための立入調査を計画的に行うとともに、第一種耐熱形配電盤等についてより効率的な製造が可能か検討を行います。

(2) 耐熱形配電盤等機器認定事業

耐熱形配電盤等に用いる機器の性能、構造及び材質等の品質確保を図るため、認定機器及び登録機器の認定を実施します。

(3) JSIA 優良工場認定事業

今まで審査基準としていた JIS Q 9001 の品質マネジメントシステムが構築されていることを前提に、配電盤、分電盤、制御盤それぞれの JIS や JSIA 規格適合性を検証する形式検査及び同等品質の製品を継続して製造できることを確認する工場調査を実施します。また、(一社)公共建築協会等に対し引き続き本制度の PR を行います。

5. 経営の改善に関する事業

(1) e-JSIA 事業

e-JSIA システムは安定化が図られたため、更なる普及に向けて検討を行います。

(2) 事業推進活動

首都圏を中心に繁忙感が増していることに伴い、様々な課題が予想されるため、必要に応じ対応策の検討を行います。

6. その他の事業

(1) 証明書の発行（中小企業等経営強化法の経営力向上設備税制）

税制優遇措置に係る制度が、H29 年 4 月より中小企業等経営強化法の「経営力向上設備税制」として大きく変わりました。

本税制は平成 31 年 3 月までの 2 年間適用され、

①同法固定資産税特例については建物附属設備用等対象範囲が拡充されました。

②生産性向上設備投資促進税制は同税制に改組されました。

対象設備である「受変電設備」について証明書発行団体として、引き続き円滑な処理に努めます。

なお、生産性向上設備投資促進税制は終了ですが、平成 29 年 3 月 31 日までに取得済

み設備分について証明書の発行ができますので、今までの生産性向上設備投資促進税制用申請書をご利用願います。

(2) 出版事業及び成果物の開示

技術資料や調査研究事業の報告書は、技術力向上のため研修や自己研鑽のテキストとしてウェブページでの公開や出版物として発行します。

【今年度発行・出版予定成果物】

- ・ JSIA 300 「分電盤通則」(改訂版)
- ・ JSIA-T1006 「配電盤類に使用する銅ブスバーの許容電流計算」(確認版)
- ・ JSIA-T1013 「インバータとその制御」(改正版)
- ・ JSIA-T1182 「配電盤類の電気用図記号を用いた回路図」(改定版)
- ・ 「作業効率の向上化：設計作業の課題と対策」の調査報告書

(3) 自主統計の実施

業界動向を継続的に把握するため、各種統計調査を行います。引き続き多数の会員の皆様方のご協力をお願いします。

四半期毎に「景況観測調査」また、年 1 回「経営分析調査」「生産統計調査」「賃金実態調査」を引き続き行い、ウェブページに掲載します。

(4) 広報活動

ウェブの全面的な見直しを行うとともに、JSIA の取組みや成果、国の施策、省エネなどの有益と思われる情報をタイムリーに発信できるよう、「JSIA ウェブページ」や「JSIA ニュース」の活用に努めます。

また、JECA FAIR への出展などにより対外的な認知度の向上に努めます。

【主な広報媒体は以下の通り】

- ・ 機関紙「JSIA」・・・年 1 回
- ・ JECA FAIR 2017 (第 65 回電設工業展) への出展
ビデオによる本会の事業の紹介、盤業界の歴史の展示のほか、会員企業の製品についても展示し PR に努めます。
- ・ Web サイトの見直し
検索のしやすさ、支部毎の Web サイトの作成など全面的な見直しを行います。

※会員コーナのパスワードについて、セキュリティを確保するため年 1 回程度変更を予定していますのでご注意ください。

- ・ 「JSIA ニュース」の配信・・・必要の都度(月 1 回程度)

(5) 青年部会(仮称)の創設

- ・ 現在各地で活動している青年部を統合し、若手経営者等の連携強化に貢献します。

(6) 表彰事業

永年にわたり業界及び本会の発展に貢献された方々を称えるため、下記の表彰を行います。

- ・ 配電制御システム永年功績者表彰
- ・ 優良従業員表彰

(7) PL 保険事業

平成9年度から配電盤類の事故による納入先への損害補償制度を実施しています。

また、PL 保険に加え、対人・対物事故を伴わない経済的損失をカバーできる保険の取り扱いも行っています。

Ⅲ. 支部実施予定事業

本部の方針に基づき実施する事業のほか、それぞれの地域の実情に即した事業活動を推進していきます。最新技術動向の把握や技術力向上に向けて、委員会や講習会などをタイムリーに実施します。

また、関係官庁、関係団体との意見交換・交流を通じ、本会の地位向上・取引の改善を図ります。

1. 共通して実施する事業

(1) 広報活動

ウェブページによる情報発信、関係官庁、関係団体などから入手した情報提供及びパンフレット等の配布などを行います。

(2) 経営改善事業

関係団体等との連携、協議などにより地域の実情に沿った事業の推進に努めます。

(3) 配電制御システム検査技能審査事業

配電制御システム検査技能審査試験を実施します。

(4) 講習会、研修会、セミナーなどの開催

各種試験の受験に向けて技術講習会、電気技術関連研修会、JSIA 優良工場指定講習会、工場見学会などの教育・訓練の推進をします。

(5) 交流事業

- ・関係機関、関係団体、会員相互の意見交換及び交流を行います。
- ・野球大会、テニス大会など支部の特徴を生かした交流事業を実施し、健康の増進に努めます。

2. 特定の支部で実施する事業

(1) 技能検定試験の実施

下記のとおり実施します。なお、中部支部の電気製図作業、電気機器組立て作業、シーケンス作業等は、愛知県電機技術工学院で行っています。

- ・電気製図作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・電気機器組立作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・シーケンス制御作業・・・東京支部、関西支部
- ・電子機器組立作業・・・関西支部

(2) 青年部活動

若手経営者による情報交換、交流会などを必要に応じ各地の青年部と連携して行います。

(3) 表彰事業

支部長による優秀技能者の表彰などを行います。

IV 組織図

